

1. はじめに

8月13日月曜、大潮の干潮時、西渚を調査。当日干潮は12:23で14cm。お盆休みに試験的に子供の水浴ができることもあり、平日なのに結構な人出。12時頃に現地到着し1.5時間ほど滞在

沖に張られたネット近くまで行って所々砂浜を熊手とスコップで掘って状態を調べた。相変わらず生物は見かけなかった。



同じような大きさの甲羅が深緑色のカニを引っかけたが、逃げてしまった。子供連れの近くの方がカニを取ったと話していたので、ガザミは少しいるらしい。

貝類は何回も熊手を入れたが2.5cm程度のバカ貝3個だけで、稚貝も全く見なかった。



叩いてもカキ殻をはがすことができない。

やっと長さ5cm程度の殻が一つ取れたので家に帰って割ってみたらカキが入っていた。固着できる場所があるとカキが生息できるようなので、西渚のネット外側にコンクリート製のなにかを置けばカキが生息し、水質改善に役立つと思われる。



2. 観察

沖の方に行くまでの水溜は水温が高く40度くらいの感じであった。あちこちにある小さな穴は、スコップで少し深く掘ってもなにも出てこなかった。一カ所では水が奥から吹き出してきた。

沖近くでは多少生物が見られた。カニでは、長さ7cmくらいのガザミのような抜け殻があったほか熊手で



西渚への橋の陸側の岸の水際でなにかを取っている人が数人いたので帰りに降りてみた。水際はカキが密生しているようで、強固にくっついていて熊手で

